

# 七福会

## 先祖のルーツをもとめて

荒川市 津江義勝



七福会発足の目的は、親を敬いその先祖を慕うことにあります。それには先祖のルーツを探し求めることになりす。

私の両親は、秋田県生まれで、昭和元年に結婚しています。私が小学校五年の時に鹿角から両親兄弟姉妹とともに唐丹にきました。

母は六十四歳亡くなり、父は八十歳で亡くなっていきます。思えば母が六十四歳で

亡くなっているが、女性としては余りにも短い人生だと思っている。父も母も我々子供を育てるため一生懸命に、それはそれは爪に火を灯して夜遅くまで働いていました。特に母親は夜遅くまで働いていたので、何時寝るのだろうかと思つていました。当時はどこの親でも同じように働きづめでした。我々子供も立派な労働力として働かせられました。

そうなのかもしれません。その時代をただただ一生懸命生き抜いてきたのです。その当時のことを思うと、不平不満など無かつたと言ふより、それを考える余裕さえなかつたのです。それからの戦後日本の経済は飛躍的な発展を遂げました。今の中国の経済発展はまさに、四十年前頃の日本と似ていますし、公害問題もそっくりそのまんまです。バブル経済崩壊後の平成不況、そして開放経済下での格差拡大が問題視されています。

長い年月を経て加齢するに従い、年月を経て加齢するに従い、ようやく自分というものを冷静に考えられるようになりました。両親のこと兄弟姉妹のことを、津江家の長男としてです。過去は時間の流れのうち既に過ぎ去った部分でもありますが、過去を思い出し、記憶し、記録することにあるとおもいます。

現在と同一の物差しの上で比較することができると言うことにもなるでしょう。私たちが兄弟姉妹七人は、唐丹釜石は勿論のこと、遠く名古屋、千葉、東京にと、その土地土地で元気に暮らしています。これも両親から丈夫な身体を授けていただいたものと感謝せずにはいられません。私たちが生んでくれた両親に、親孝行として何が出来るかと思案し



た結果、兄弟姉妹七人が健在でいられる事の感謝を込めて、七福会を結成しました。七福会は兄弟姉妹七人の連れ合いを入れて十四人の集まりで、今までに名古屋や、東京で開催して親交を深めてきました。

七福会は系図をつくりまして、親を敬いその先祖を慕うことを続けて参ります。